

(活動報告書様式)

団体名	やまがた子ども観光大使実行委員会		
事業名	やまがた子ども観光大使2021ファイナル ～親子で地域の魅力発信から人・自然・未来とのつながりへ～		
助成事業区分	協働助成事業（一般型）【自由提案部門】		
団体の 所在市町村	山形市	事業費	692,062 円
		うち助成金額	335,762 円

## ■事業目的

この10年間で、地域の魅力を発信する活動を通して、地域と子どもを繋ぐ課題の解決に貢献してきた。しかし、自然との関わりへの二極化、人間関係の希薄化、子どもたちの自信のなさ、など社会の課題は、より深刻さを増している。そこで、「人・自然・未来とのつながり」をテーマに、子どもが自信を持って、新しいことに挑戦する基盤づくりの活動を展開することを目的とする。

## ■実施内容

○子ども観光大使チャレンジスクールの実施

- ・9月25日～26日  
最上エリアの実施(戸沢村)  
参加児童・生徒 5名
- ・10月16日～17日  
庄内エリアの実施(鶴岡市)  
参加児童・生徒 8名
- ・11月6日～7日  
置賜エリアの実施(南陽市)  
参加児童・生徒 8名
- ・11月27日～28日  
村山エリアの実施(村山市)  
参加児童・生徒 6名
- ・2月4日  
認定証の発送

○対象：山形県内に住む小

学校3年生～高校3年生  
(子どもだけの参加も可能)

○活動内容：1日目に地域の魅力体験、観光・まちづくりに関する企画提案作成、2日目に、観光・まちづくりに関する企画提案発表。

・参加した子どもたちが、自分たちで話し合いを進めたり、発表の原稿作りができるよう関わりを徐々に減らすようにした。また、ホームページに今年度の活動の流れを掲載することで、今後、興味を持った自治体実践ができるようにした。

## ■事業の成果及び今後の展望

### ①事業の成果

参加した児童からは、「学校では、こんなに自由に自分たちの考えを発表する機会がないので、自分たちで(リーダーシップを発揮して)進めることができ楽しかった」という感想が多数寄せられた。企画提案について、来年度以降、実施できそうなプランがいくつか完成した。次年度以降、「誰でもリーダーになれる」「自分を変えることが成長につながる」という視点で、人・自然・未来の繋がりを模索した活動の企画案が、最上「いかだ

くだり」、庄内「羽黒山に登ろう」、南陽「食べ歩きをしよう」の3本が提案された。

### ②今後の展望

コロナ感染症拡大の影響もあり、観光もオンラインの時代になりつつあるが、「やまがたの自然の魅力！満喫プロジェクト」が運営する「未来へ繋ぐ宿泊体験」のプログラムとして、地域の魅力を体験し、その良さを発信するプログラムを実施していけるよう働きかけを行っていきたい。なお、中学生以上が、ボランティアスタッフとなって、活動の運営ができるよう組織づくりを行っていきたい。参加者、実行委員、サポート役と役割の循環を作り、ここで学んだことをもとに、自分が挑戦したい分野で、今回のモデルを用いて、リーダー育成、主体性の発揮ができる社会の実現を目指したい。

